

環境経営レポート

令和6年度

(令和6年6月1日～令和7年5月31日)



®環境省

エコアクション21

認証・登録番号 0005180

発行日 令和7年 6月 20日

鳳建設株式会社

環境経営方針

基本理念

鳳建設株式会社は、建設業を通じて地球環境問題への重要性を認識し人と自然が調和する豊かな社会基盤のために環境保全へ積極的な取り組みをしていきます。

方針

当社は建設業として、設計、施工、監理、販売、アフターメンテナンスを通じてその活動が与える環境負荷を低減するために、以下の方針に基づき、環境経営活動を構築し、環境保全に努めます。

1. 建築物が消費するエネルギーを低減するため、熱負荷の低減、太陽光発電などの自然エネルギーの採用などを積極的に取り組みます。
2. 当社の事業活動に関わる環境関連の法令、徳島県条例、その他を遵守します。
3. 当社の事業活動に関わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
 - ① 総エネルギー使用量の削減
 - ② 水使用量の削減
 - ③ 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
 - ④ 事務用紙使用量の削減
 - ⑤ 地域貢献活動による社会貢献
 - ⑥ グリーン購入の推進
 - ⑦ 顧客への省エネ住宅の提案及び推奨
 - ⑧ 人材の確保
4. 環境教育を実施し、環境方針の理解と環境に対する意識の向上を全社員に周知徹底させるとともに、環境活動レポート等で社外へも公表します。
5. 弊社は環境経営の継続的改善に取り組みます。

上記方針の達成するために目標を設定し定期的に見直し環境経営システムを推進します。

制定日 平成 21 年 9 月 1 日

改定日 令和 6 年 6 月 1 日

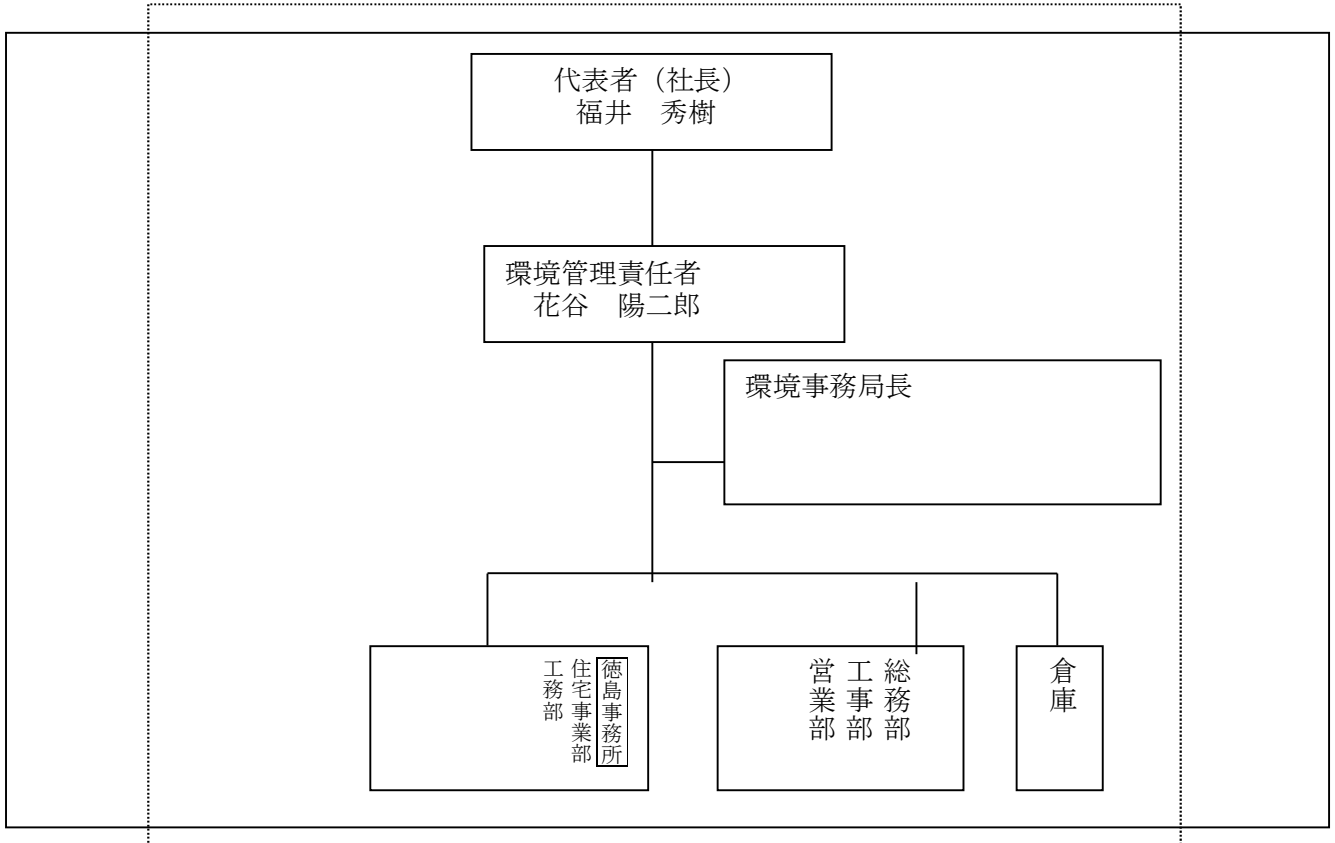
鳳建設株式会社

代表取締役

31. 事業概要

事業所名	鳳建設 株式会社
所在地	
本社(登記上)徳島事務所	〒770-8024 徳島県徳島市西須賀町東開 47 tel 088-669-2711 fax 088-669-2954
阿南事務所	〒774-0045 徳島県阿南市宝田町出口 4-2 tel 0884-22-1831 fax 0884-22-1884 E-mail kensetu-otori@royal.ocn.ne.jp
倉庫	〒774-0045 徳島県阿南市宝田町郡 13-1 URL www.otori.jp
代表者	代表取締役 福井 秀樹
事業内容	総合建設業(特定建設業): 建築工事業・土木工事業・解体工事業 建築設計業務
環境管理責任者	花谷 陽二郎
環境事務局担当者	野口 由紀子
建設業の登録 加入団体	徳島県知事 特-03 第497号 特-06 第497号 徳島県建設業協会・徳島県・宅地建物取引業協会 日本ツーバイフォー建築協会・徳島県建築士事務所協会
事業所創立 会社沿革	昭和42年5月 鳳建設創立 昭和44年6月 鳳建設株式会社に組織変更 平成29年10月 ISO9001 2015認証取得
事業規模	資本金 2,400万円 工事高 442,574万円 従業員数 33人(令和7年5月31日現在)
有資格者	1級土木施工管理技士 5名 2級土木施工管理技士 2名 1級建築施工管理技士 17名 2級建築施工管理技士 1名 1級建築士 4名 2級建築士 9名
認証・登録の対象範囲	全組織、全活動(解体工事業は除く)
事業所延床面積	922㎡
倉庫 延床面積	642㎡

鳳建設株式会社 環境経営システム組織図



	役割・責任・権限
社長	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間技術者を用意 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標の設定を承認 環境経営レポートの承認 代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムを構築し、実施し、管理 法規制等の要求事項登録簿を承認、遵守チェック 環境活動実施計画書を承認 環境経営レポートの確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者、E A 2 1 推進会議の事務局 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 「環境関連法規等チェックリスト」の作成、遵守チェック 環境目標・環境活動実施計画書原案の作成 環境経営レポートの作成 環境活動実施計画の実績集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
各部署長	<ul style="list-style-type: none"> 自部署における環境経営システムの実施 自部署における環境方針の周知 自部署の従業員に対する教育訓練の実施 自部署に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部署の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 自部署の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環境経営目標

作成日：令和6年6月1日
作成責任者：花谷 陽二郎 印

□環境経営目標とその実績

項目	基準値 令和元年度 実績	令和6年度 目標 8%減	令和7年度 目標 10%減	令和8年度 目標 12%減	令和9年度 目標 14%減
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	166138.11	153241	150176	147172	144,229
電力使用量 (kwh/年)	185077	170709	167295	163949	160,670
燃料 (L/年)					
ガソリン	36158.84	33351	32684	32030	31,389
軽油	2611.7	2409	2361	2314	2,268
廃棄物					
一般廃棄物 (トン/年)	3.01	2.77	2.71	2.66	2.61
産業廃棄物 (トン/年)	702	634	621	609	609
水使用量 (トン/年)	4679	4315	4229	4144	4,061
エコマーク商品購入(品/購入品)	7	9	9	9	9
省エネ住宅の販売[太陽光販売](棟/全棟)	32%	36%	37%	38%	39%
地域貢献活動 (件)	4	4	4	4	4

※中長期環境経営目標設定値は令和元年度の実績の数値を基準とした。

化学物質については協力会社に材工で発注しているため把握していないので目標に設定しておりません。

□環境経営目標とその実績(令和6年6月～令和7年5月)

項目	目標	実績	達成率
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	153241	125386	122.2% 達成
電力使用量 (kwh/年)	170709	139959	121.9% 達成
燃料 (L/年)			
ガソリン	33351	30651	108.8% 達成
軽油	2409	507	475.1% 達成
廃棄物			
一般廃棄物 (トン/年)	2.77	2.06	134.5% 達成
産業廃棄物 (トン/年)	634	692	91.6% 未達
水資源 (トン/年)	4315	6420	67.2% 未達
エコマーク商品購入(品/購入品)	9	9	100% 達成
省エネ住宅の販売(棟/全棟)	36%	42%	116.7% 達成
地域貢献活動	4	4	100% 達成

購入電力の排出係数 四国電力=0.370 kg-CO₂/kWh (令和6年度)
(株)FPS =0.391 kg-CO₂/kWh (令和6年度)

□評価

- ・二酸化炭素排出量は達成した。
- ・電力使用量は前年度より減少した。
- ・ガソリンは若干減少した。
- ・一般廃棄物は引き続き減少している。
- ・産業廃棄物は増加した。
- ・水使用量は大幅に増加した。
- ・エコマーク商品購入は達成できた。
- ・省エネ住宅は達成であった。

□主要な環境経営計画の内容 取組み結果の評価(令和6年6月～5月)

取組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
①電力の削減 ・エアコンの温度設定 事務所：冷房 28℃ 暖房 20℃ 現場：冷房 28℃ 暖房 20℃ ・照明機器、クーラーの掃除を年1回する。 ・休憩時間は建設現場及び事務所の消灯を実施する。 ・エアコンの簡易点検を年1回実施する。	目標：170709 実績：139959 達成率：121.9%	・前年度より減少した。 ・引き続き各現場、事務所共省エネに努める。 ・ unnecessary 照明の消灯をこころがける。 ・残業時間を低減する。 ・エアコンの点検を忘れないように。
②燃料の削減(ガソリン) ・低燃費車の推奨 ・遠距離は乗り合わせて行く。 ・急発進、急停車の禁止 ・アイドリングストップの励行	目標：33351 実績：30651 達成率：108%	・今回目標達成した。 ・使用量の多い者については、使用状況を聞き出し、問題を検討する。
③水使用量の削減 ・こまめに蛇口をしめる。 ・現場終了時担当職員は蛇口を確認する	目標：4315 実績：6420 達成率:67%	・今回増加した。杭工事における水使用量の増加が原因と考える。 ・目標値を見直すか工事内容を検討する。
④廃棄物の削減及びリサイクルの推進 ・ゴミの分別を行う。 事務用紙使用量の削減 ・裏紙の励行 ・電子化の推進(書類量削減)	目標 2.77 実績 2.06 達成率:134%	・一般廃棄物は目標達成することができた。 ・社内書類は裏紙を使用するように努める。 ・産業廃棄物については目標未達であった。 ・引き続き削減に努力していく。
・梱包材の見直し ・ゴミの分別を行う。	目標：634 実績：691.9 達成率：91.6%	・産業廃棄物は目標未達であった。大規模現場の増加が原因と考える。
⑤地域貢献活動による社会貢献 ・地域の開催するボランティア活動に積極的に参加する。(清掃活動)	目標 4 実績 4 達成率:100%	・ボランティア活動は積極参加できている。今後も維持するようにする。
⑥グリーン購入の推進 ・エコマーク商品の購入の推奨	目標 8 実績 8 達成率: 100%	・事務用品等はエコマーク商品を進んで購入している。
⑦省エネ住宅への取組	目標 36% 実績 42% 達成率 116.7%	・太陽光発電を顧客に推奨する。
総括と評価、次年度の取組み ・今回電力を減らすことができたのは、大規模現場での協議会等の際に協力業者への教育を実施したため。 ・省エネ住宅の提供を営業、工事一体となり、推奨していく。 ・太陽光は補助金等もあるため、積極的に勧めていく。 ・各現場共、協力会社にも朝礼、災害防止協議会等での教育を行う様に指導していく。		

□環境関連法規制等の順守状況

法規制等の名称	当社の対応	遵守状況の確認
環境一般		
環境基本法	環境保全に関する施策に協力する	遵守
地球温暖化対策の推進に関する法律	温室効果ガスの排出の抑制に努める	遵守
廃棄物		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 産業廃棄物	委託契約書の締結とマニフェストの交付及び保管等	遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 一般廃棄物	分別排出の遵守	遵守
建設リサイクル法	対象工事の届出及び分別解体、再資源化の促進	遵守
家電リサイクル法	特定家庭用機器の適正処分	遵守
化学物質		
ダイオキシン類対策特別措置法	対象工事の事前調査、作業計画の作成及び届出	該当なし
労働安全衛生法	対象工事開始14日前までの届出	該当なし
廃PCB処理法	保管・処理状況の届出及び適正処分	該当なし
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	委任確認書、引渡証明書の受理と写しの保管 第一種特定製品（業務用、建設機械エアコン） 簡易点検実施1回/3月以上	遵守
大気汚染		
大気汚染防止法	石綿除去工事の届出及び適正施工	該当なし
労働安全衛生法 石綿障害予防規則	石綿除去工事の届出及び適正施工	該当なし
水質汚濁		
浄化槽法	適正排水及び維持管理	遵守
騒音・振動		
騒音規制法	指定作業の届出	遵守
振動規制法	指定作業の届出	遵守
その他		
徳島県脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例	温室効果ガスの排出の抑制に努める	遵守
徳島県生活環境保全条例	騒音発生施設の設置届	遵守
阿南市環境基本条例	環境の保全に努める	遵守

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、関係当局より過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し指示

令和7年6月7日 代表者 福井 秀樹

見直しに必要な情報		変更の必要性の有無・指示事項
環境管理責任者から代表者への報告事項		(代表者)
[取組状況の評価結果] ・ 法的要求事項の遵守状況 ・ 是正及び予防処置の状況 ・ 前回までの指摘事項の改善他 ----- ・ 法的要求事項は遵守できた ・ 是正及び予防処置 1 件 ・ 指摘事項無し	[環境経営方針] ・ 環境方針に沿ってほぼ活動できている。	[環境方経営方針] ・ 現状をよく観察し、維持していくこと。 変更の必要性： 有 無
[目標の達成度] ----- ・ 産業廃棄物、水資源について達成できなかった。 ・ 二酸化炭素、電力、ガソリン、一般廃棄物、上水道、省エネ住宅販売は目標達成できた。 ・ エコマーク商品購入、地域貢献活動について達成できた。	[目標] 産業廃棄物、水資源についても目標達成できるように。	[目標・環境経営計画] ・ ガソリン使用について削減に努めること ・ 一般廃棄物、産業廃棄物については、引き続き減少していくように。 ・ 燃料の削減を徹底するため、エコカー等を推進すること。 ・ 住宅においては太省エネ住宅を顧客に薦めていくこと。 水資源については目標数値を見直す。 変更の必要性： 有 無
[周囲の変化状況] ・ 外部コミュニケーション ・ 法的要求事項の動向他 ----- ・ 近隣説明会を開催した。 ・ 法的要求事項の動向は無かった。	[システムの各要素] ・ 今後必要に応じて見直しを行う。	[経営システムの各要素] 現行の EA21 の実施体制については、適切に運用されているので当面見直しの必要はないと考えている。 変更の必要性： 有 無

対象となる持続可能な開発目標(SDGs)範囲

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs No.	項目	当社対象有無	備考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を		高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに	○	環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう	○	障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に		水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	○	再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も	○	高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基礎をつくろう	○	低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう	○	高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO2削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO2削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう		下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさを守ろう		緑化、植林、社有林の保全
16	平和と公正をすべての人に		寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう		寄付、環境教育